

平成28年度天皇杯受賞者受賞理由概要
畜産部門

条件不利地域「南ぬ島」での酪農経営、ジェラートにかける想い

○氏名又は名称 農業生産法人 有限会社 伊盛牧場（代表 伊盛 米俊）

○所在地 沖縄県石垣市

○出品財 経営（酪農・加工）

○受賞理由

・地域の概要

石垣島は、年平均気温24℃の亜熱帯海洋性気候に属し、半年間は最高気温が乳牛の生産環境限界温度とされる27℃を越える。また、離島で台風襲来の多い地域であることから、乳牛飼養にとって条件が不利な地域である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

伊盛氏は、台風襲来が多い島では畜産が適すると考え、和牛1頭から畜産を始めた。しかし、離島で生乳が不足していたため酪農に転換。平成5年に農業生産法人有限会社伊盛牧場を設立し、平成17年に暑熱対策を取った牛舎の整備を実施し、暑熱に強い牛群改良を進めることにより、生乳生産を軌道に乗せた。その後、ジェラート等の加工販売所を開店し、平成25年の新空港開港に伴い空港内に2号店を構えた。平成27年度末で、役員4名、従業員19名、売上総利益は対平成25年度比143%と飛躍的な伸びを示している。

・受賞者の特色

(1) 亜熱帯・離島での酪農

牛舎は日射や通風に配慮し、送風器や噴霧装置を設置する等の暑熱対策を取っている。また、性判別精液により自家産で耐暑性に着目した乳牛改良を進めている。さらに、土壌改良を行い牧草地にローズグラスを栽培し、年6回の刈り取りと3年毎の草地更新を行っている。これらにより粗飼料はアルファルファペレット以外は完全自給、平均乳量7,565kg/頭、乳脂率4.0%と都府県酪農と変わらない品質を維持している。

(2) 畜産物を用いた6次産業への参入

特産の黒糖、紅いも、果実など規格外で出荷できない産品を地元生産者から引き受け、多彩なジェラートを商品化して地域資源と産業を結びつけた。また、廃用した乳牛の肉を利用したハンバーガーも人気を集め、石垣島の振興と発展にも貢献している。

(3) 女性の活躍

女性従業員12名（うち正社員4名）を雇用し、女性の発想や感性を活用した商品開発や販売促進に取り組んでいる。短時間型の勤務シフトを選択できるなど、家庭と仕事が両立可能な環境を整備し、地域社会と結びついた経営を展開している。

・普及性と今後の発展方向

増加する顧客に対応するため、新加工施設を建設中。さらに、交雑種肥育にも着手し、売り上げ増加に対応するための規模拡大を図っている。伊盛氏は、観光客により収入が増加しているものの、土地に立脚した酪農が大切との思いから、1次産業を重視し暑さに強い牛群を構築しながら地域の实情に沿った特色ある酪農経営を目指している。